

G3/G3X v2.10 ファームウェアアップデートガイド

For Mac

Copyright(C) 2013 ZOOM Corporation. All Rights Reserved.

Ver2.10

- 本ソフトウェアを使用したことによる損害、または第三者からのいかなる請求についても(株)ズームは一切の責任を負いません。また、本ソフトウェアの無断配布/販売/リース/レンタル/改変/リバースエンジニアリングを禁止いたします。ソフトウェアの仕様および本ドキュメントの内容は将来予告なしに変更する場合があります。

Macintosh®、Mac OS® は、Apple Inc.の商標または登録商標です。文中のその他の製品名、登録商標、会社名は、それぞれの会社に帰属します。

*文中のすべての商標および登録商標は、それらの識別のみを目的として記載されており、各所有者の著作権を侵害する意図はありません。

本マニュアルに記載してある説明図は、実際の画面と異なることがあります。

1. はじめに

このたびは、

“Zoom G3v2/G3X **System** v2.10 Updater”

“Zoom G3v2 **Preset** v2.00 Updater”

をダウンロードいただき誠にありがとうございます。

本ドキュメントは、G3/G3X のファームウェアアップデートについて説明します。

2. 動作環境

対応 OS:

Mac OS X 10.5

Mac OS X 10.6

Mac OS X 10.7

Mac OS X 10.8

【注意】 Mac には管理者権限のアカウントでログインしてください。

本アプリケーションを起動する前に、実行中のアプリケーションをすべて終了してください。

3. G3/G3X のファームウェアバージョンを確認する

G3 のオペレーションマニュアル P21、または G3/G3X オペレーションマニュアル P25 の手順を参照し、お手持ちの G3/G3X のバージョンを確認してください。既に PRESET バージョンが v2.00、SYSTEM バージョンが v2.10 もしくはそれ以降の場合、本アプリケーションでのファームウェアアップデートは必要ありません。

SYSTEM バージョンが v2.00 以降の場合、以下の項の手順に従い、ファームウェアアップデートを行ってください(P2 参照)。

[4. SYSTEM v2.00 以降からファームウェアをアップデートする](#)

SYSTEM バージョンが v2.00 より低い場合、以下の項の手順に従い、ファームウェアアップデートを行ってください(P4 参照)。

[5. SYSTEM v2.00 より低いバージョンからファームウェアをアップデートする](#)

4. SYSTEM v2.00 以降からファームウェアをアップデートする

4.1. ファームウェアをアップデートする

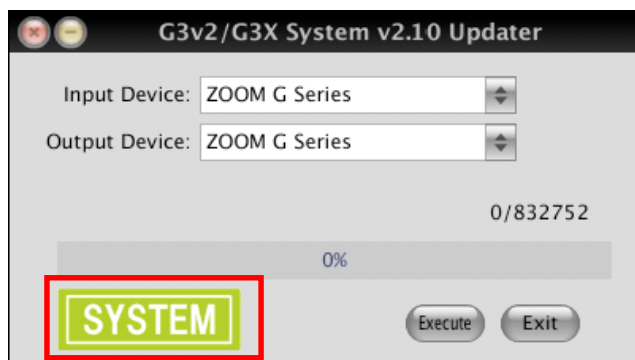
以下の手順に従ってファームウェアアップデートを行なってください。

1. ファームウェアアップデートを行う前に、お使いの Mac と USB ケーブルで接続されている MIDI またはオーディオ機器があれば、全て取り外してください。また、動作しているアプリケーションがあれば、全て終了してください。
2. G3/G3X の電源スイッチが OFF の状態で、PATCH SELECT の▼スイッチと▲スイッチを押しながら Mac と USB ケーブルで接続します。この操作により、G3/G3X がファームウェアアップデート待機状態となり、G3/G3X のディスプレイには、ファームウェアアップデート待機画面が表示されます。



【注意】 G3/G3X を Mac に接続した際に「Edit&Share」が起動すると、ファームウェアアップデートが正常に行えませんので、「Edit&Share」を終了してください。

3. SYSTEM のファームウェアアップデートを行います。添付のファームウェアアップデート用アプリケーション “Zoom G3v2 G3X **System** v2.10 Updater.app” のアイコンをダブルクリックし、起動してください。起動すると、以下のようなウィンドウが表示されます。



4. [Input Device]、[Output Device]の欄に、ともに “ZOOM G Series” と表示されていることを確認してください。表示されていない場合は、各欄をクリックして表示される MIDI デバイス一覧から “ZOOM G Series” を選択してください。
5. ファームウェアアップデートを実行するには、[Execute]ボタンを押してください。ファームウェアアップデート中は、プログレスバーで進捗状態が表示されます。また、G3/G3X のディスプレイには、ファームウェアアップデート実行画面が表示されます。

【注意】 ファームウェアアップデート中は USB ケーブルを抜かないでください。

6. ファームウェアアップデートが完了すると、以下のように表示されます。



[OK]ボタン、[Exit]ボタンの順に押し、ファームウェアアップデート用アプリケーションを終了させてください。また G3/G3X のディスプレイには、“Complete” と表示されますので、USB ケーブルを抜いてください。

以上でファームウェアアップデートは完了です。

5. SYSTEM v2.00 より低いバージョンからファームウェアをアップデートする

G3 v2.00 以降にアップデートすると以下の機能が追加されます。

- 6 エフェクト同時使用
- オートセーブ 機能の ON/OFF 設定

5.1. 注意事項

5.1.1. パッチデータに関する注意事項

G3 v1.12 以前のバージョンで作成したパッチを使うには、Edit&Share を使ったパッチデータの変換が必要です。Edit&Share でバックアップを取らずに、G3 v2.00 以降にファームウェアアップデートした場合、作成したパッチデータは上書き消去されてしまうので十分にお気をつけください。

【注意】 G3 オペレーションマニュアル P31 の HINT には“ファームウェアのアップデートにより、保存済みのパッチデータが消去されることはありません”との記載がありますが、v2.00 以降へのファームウェアアップデートはこれに該当しませんのでご注意ください。

5.1.2. デレイタイムに関する注意事項

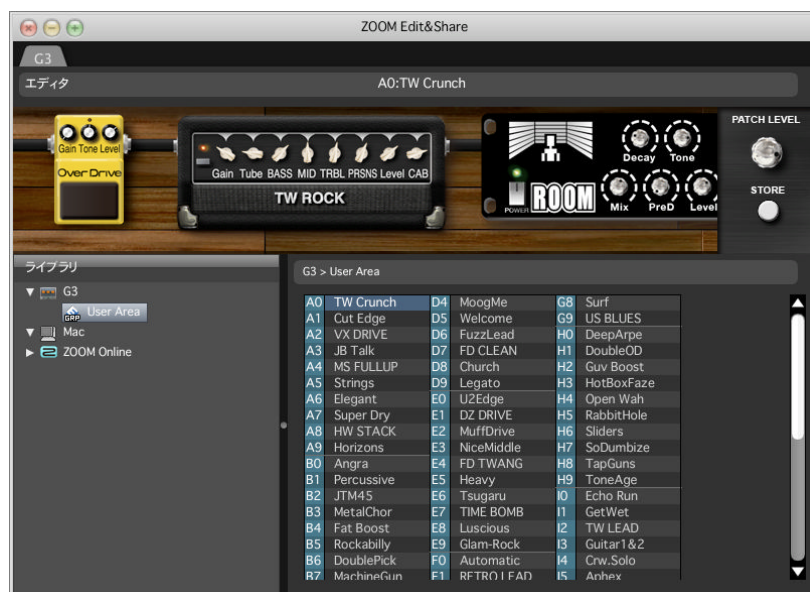
G3 v1.12 以前のバージョンで作成したパッチを G3 v2.00 以降のバージョンへインポートする際には、デレイ系エフェクトの Time 設定(上限値)に制限が掛かります。そのため、インポート時に設定範囲を超えている場合は、以下のような上限値に設定されます。

エフェクトタイプ	インポート前のTime設定	インポート後のTime設定	エフェクトタイプ	インポート前のTime設定	インポート後のTime設定
Delay 	2501以上	2500に設定	MultiTapD 	2501以上	2500に設定
	4分音符 x 10以上	4分音符 x 10に設定		4分音符 x 10以上	4分音符 x 10に設定
AnalogDly 	2501以上	2500に設定	StereoDly 	※TimeL・TimeR設定 1001以上	1000に設定
	4分音符 x 10以上	4分音符 x 10に設定		4分音符 x 4以上	4分音符 x 4に設定
ReverseDL 	1251以上	1250に設定	Dly+Rev 	※DlyTm設定 1501以上	1500に設定
	4分音符 x 4以上	4分音符 x 4に設定		4分音符 x 6以上	4分音符 x 6に設定

5.2. Edit&Share を使ってパッチデータをバックアップする

G3 v1.12 以前のバージョンと G3 v2.00 以降のバージョンではパッチのデータ構造が異なり、そのまま使用することは出来ません。Edit&Share ver5.0.0.0 以降を使ってパッチデータのバックアップと変換を行います。

1. v1.12 以前のバージョンの G3 を Mac に接続し、Edit&Share を起動します。



2. ライブラリの G3 アイコン以下に表示される “User Area” を Mac 以下へドラッグ・アンド・ドロップしてください。



これでパッチデータのバックアップが完了しました。パッチデータの変換は G3 を v2.00 以降のバージョンにアップデートした後に行います。

5.3. ファームウェアをアップデートする

G3 を v2.00 以降のバージョンにアップデートするためには、PRESET, SYSTEM という 2 つのファームウェアをアップデートする必要があります。以下の手順に従ってファームウェアアップデートを行なってください。

1. ファームウェアアップデートを行う前に、お使いの Mac と USB ケーブルで接続されている MIDI またはオーディオ機器があれば、全て取り外してください。また、動作しているアプリケーションがあれば、全て終了してください。

2. G3の電源スイッチがOFFの状態で、PATCH SELECTの▼スイッチと▲スイッチを押しながらMacとUSBケーブルで接続します。この操作により、G3がファームウェアアップデート待機状態となり、G3のディスプレイには、ファームウェアアップデート待機画面が表示されます。



【注意】 G3をMacに接続した際に「Edit&Share」が起動すると、ファームウェアアップデートが正常に行えませんので、「Edit&Share」を終了してください。

3. はじめに PRESET のファームウェアアップデートを行います。添付のファームウェアアップデート用アプリケーション “Zoom G3v2 Preset v2.00 Updater.app” のアイコンをダブルクリックし、起動してください。起動すると、以下のようなウィンドウが表示されます。



4. [Input Device]、[Output Device]の欄に、ともに “ZOOM G Series” と表示されていることを確認してください。表示されていない場合は、各欄をクリックして表示される MIDI デバイス一覧から “ZOOM G Series” を選択してください。
5. ファームウェアアップデートを実行するには、[Execute]ボタンを押してください。ファームウェアアップデート中は、プログレスバーで進捗状態が表示されます。また、G3のディスプレイには、ファームウェアアップデート実行画面が表示されます。

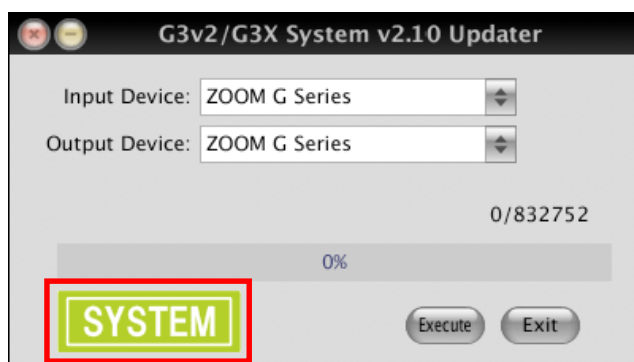
【注意】 ファームウェアアップデート中は USB ケーブルを抜かないでください。

6. ファームウェアアップデートが完了すると、以下のように表示されます。



[OK]ボタン、[Exit]ボタンの順に押し、ファームウェアアップデート用アプリケーションを終了させてください。また G3 のディスプレイには、“Complete” と表示されますので、USB ケーブルを抜いてください。

7. 続けて **SYSTEM** のファームウェアアップデートを行います。
G3 の電源スイッチが OFF の状態で、PATCH SELECT の ▼ スイッチと ▲ スイッチを押しながら Mac と USB ケーブルで接続し、ファームウェアアップデート待機状態にしてください。
8. 添付のファームウェアアップデート用アプリケーション “Zoom G3v2 G3X **System** v2.10 Updater.app” のアイコンをダブルクリックし、起動してください。起動すると、以下のようなウィンドウが表示されます。



9. [Input Device]、[Output Device]の欄に、ともに “ZOOM G Series” と表示されていることを確認してください。表示されていない場合は、各欄をクリックして表示される MIDI デバイス一覧から “ZOOM G Series” を選択してください。
10. ファームウェアアップデートを実行するには、[Execute]ボタンを押してください。
ファームウェアアップデート中は、プログレスバーで進捗状態が表示されます。
また、G3 のディスプレイには、ファームウェアアップデート実行画面が表示されます。

【注意】 ファームウェアアップデート中は USB ケーブルを抜かないでください。

11. ファームウェアアップデートが完了すると、以下のように表示されます。



[OK]ボタン、[Exit]ボタンの順に押し、ファームウェアアップデート用アプリケーションを終了させてください。また G3 のディスプレイには、“Complete” と表示されますので、USB ケーブルを抜いてください。

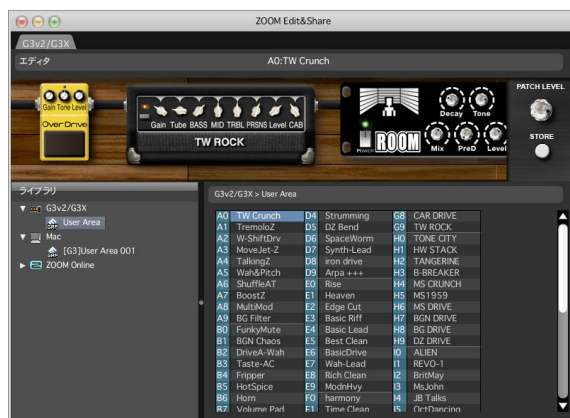
12. 最後に、G3 をオールイニシャライズします。STORE キーを押しながら電源スイッチを入れ、画面に従いオールイニシャライズを実行してください。

以上でファームウェアアップデートは完了です。

続いてパッチデータの変換を行います。

5.4. Edit&Share を使ってパッチデータを変換する

v2.00 以降のバージョンの G3 を Mac に接続し Edit&Share を起動します。



ライブラリにバックアップを取ったパッチグループ(ここでは”[G3]User Area001”)を G3v2/G3X 以下の User Area にドラッグ・アンド・ドロップしてください。



“User Area を置き換えますか？” と表示されるので、“置き換え” をクリックしてください。



これでパッチデータの変換は完了です。G3 v1.12 以前のバージョンで保存したパッチが G3 v2.00 以降のバージョンで使用可能になりました。G3 v2.00 以降のバージョンでは 6 エフェクト同時使用になっているので置き換えたパッチデータは前半の 3 つのエフェクトに入り、後半の 3 エフェクトは “Select effect type”(ブランク状態)になります。

5.5. G3 v2.00 以降のバージョンでの機能追加、変更について

G3 v2.00 以降のバージョンで追加、変更になった機能は以下になります。ZOOM の WEB サイト (<http://www.zoom.co.jp/>)から G3/G3X オペレーションマニュアルをダウンロードし括弧内の参照ページを参考に操作方法の確認を行なってください。

1. 6 エフェクト同時使用に伴うスクロール機能の追加(→P11,P12 “HINT”)
PATCH SELECT キーが SCROLL キーに機能変更されています。
2. オートセーブ機能の設定(→P24)
グローバルパラメーターにオートセーブ機能の ON/OFF を追加しました。
3. 追加されたアンプモデリング(→P45)
以下のアンプモデリングを追加しました。
 - DELUXE-R
 - VX JMI
 - CAR DRIVE
 - TONE CITY
 - MS1959
 - BGN DRIVE
 - ALIEN
 - REVO-1